

第二回南阿蘇村未来会議 村の未来をみんなで作る！



10月14日、役場大会議室にて「第2回南阿蘇村未来会議」が開催されました。この会議は、太田村長が掲げる公約を実現するため、村民と役場職員が協働して村の将来像を描き、総合計画などに反映させることを目的に、6月からスタートしたものです。

公募により集まった村民と職員、あわせて約90人が6つのプロジェクトチームに分かれ、4カ月にわたり議論を重ねてきました。

当日は、各班がまとめた15本の企画提案書が発表され、農業や観光など南阿蘇村の特徴を生かした提案から、買い物環境や公共交通の改善など、暮らしをより豊かにするアイデアまで、幅広い内容が紹介されました。

また、会議にはアドバイザーとして東海大学副学長の本之内均さん、アイデアITカレッジ阿蘇校長の井手修身さん、総務省地域力創造アドバイザーの中川直洋さんも参加され、発表に対して講評をいただきました。

発表後は質疑応答が行われ、参加者同士が活発に意見を交わしました。

最後に太田村長が「皆さんの貴重な提案に感謝します。実現可能性の高いアイデアは、よりよい村づくりのために積極的に取り入れていきたい」と挨拶され、会を終了しました。



住みよいむらづくりプロジェクト

A班からF班まで全部で15の事業提案がありました。抜粋して紹介します。

A班 「便利で豊かな村民生活 向上プロジェクト」



- 買い物弱者対策として小売店を誘致する提案
- 自家用車を使って一般のドライバーが有償で送迎するライドシェアを利用して安心して暮らせる山間部モデルを提案

B班 「稼げる観光・農業 活性化プロジェクト」



- SNSを使って村の情報や魅力を発信していく提案
- 農作物の加工所をつくり特産物の生産量と売り上げを伸ばし、村民のワクワクを創造する農業モデルを提案

C班 「村外からヒトモノ企業 積極誘致プロジェクト」



- リバーアクティビティ体験やキャンプを提供し、観光振興と経済活性化を図る提案
- 空家マッチングサービスの民間活用を提案
- ドローンや3Dマッピングを使い災害対応や農業活性化などに取り組むモデルを提案
- 共同冷蔵庫一時保管庫の設置を提案

F班 「庁舎内活性化 プロジェクト」

- 庁舎内の業務の連携や職場環境などについて、現状と課題を報告し、よりよい庁舎づくりに向けた構想を提案

D班 「安心安全子育て・ 学校教育プロジェクト」

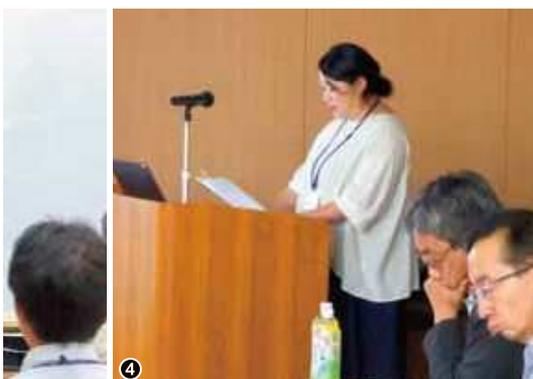


- 村の地域資源を生かし、子どもが安心して遊べる場所や地域の大人が先生となり子どもたちに自然や文化を伝える「学びの場」として活用できる場所として、「南阿蘇パークビレッジ構想」を提案

E班 「ふるさと納税増額 プロジェクト」



- ふるさと納税の増額に向け、新規返礼品「南阿蘇オーツミルク」の商品化を提案
- 返礼品提供事業者による振興協議会の設立や独自の補助金の設立を提案



①②④発表と質疑応答の模様 ③挨拶をする太田村長